

龍 灯

第 1 1 号

発行所

大阪市史跡 龍溪禪師墓所
靈龜山 九 島 禅 院
〒550 大阪市西区本田 3丁目4-18

発行人

住 職 奥 田 啓 知 (智證)
☎06-582-5772

私がオバさんになっても 古い・若さの基順はない



森高千里という女性歌手が歌う『私がオバさんになっても』という歌謡曲が評判になってい
ます。昨年末の紅白歌合戦にも
出場したのでご存じな方も多
いと思います。歌詞はざっと次
のようなものです。

「秋が終われば冬が来る ほん
とに早いわ (略) ・私
がオバさんになっても 泳ぎに
連れてくの? 派手な水着はと
てもムリよ 若い子には負ける
わ 私がオバさんになっても本
当に変わらない? とでも心配
だから (略) ・女子が好
は 十九だと あなたがいった
のよ (略) ・私がオバさ
んになっても ディスコに連れ
てくの? ミニスカートはとて
もムリよ 若い子には負けるわ
・ (略) ・私がオバさんにな
ったら あなたはオジさんよ
かっこいいことばかりいって
お腹がでてるのよ (略)

要するに、私がオバさんにな
っても、若い時と同じように愛
してくれるの? という気持ち
を歌ったものです。

『私がオバさんになっても』
という歌詞を裏返すと、若さこ
そ素晴らしいという価値観がみ
えます。『オジンくさぁ』と
は、吉本新喜劇のギャグのひと
つですが、仏教では「若さ」と
「老い」についてどのように説
いているのでしょうか。

仏教では、この世のいっさい
が「苦」であると教えています
お釈迦さまは、基本的な苦とし
て「四苦(しく)」をあげられ
ました。四苦とは ①生 ②老
③病 ④死 で、この四つが人
間にとって根源的な苦しみであ
るといえるのです。さらに、この
四苦にくわえて、あと四つの苦
があるときれ、合計して八苦に
なります。あとの四苦は、まず
「愛別離苦(あいべつりく)」、
「愛する者と別離しな
ければならない苦しみ、つきは

怨憎会苦(おんぞうえく)」、
「うらみ、憎んでいる者と会わね
ばならない苦です。第三は「求
不得苦(ぐぶとく)」、「求めて
得られない苦しみ、最後は「五
盛陰苦(ごじょうおんく)」、
「自己に執着することから発する
苦しみです。」「四苦八苦(しく
はつく)」、という言葉は、ここ
からでています。

『バスターの白い空から』と
いう遺稿集(佐野英二著 昨年
六十五歳で病死)のなかに、
人間の年齢に関する深い示唆に
とんでいる一文が載っていました。
こんな話です。

社宅の執事ババロケに年をた
ずねると、「約四十歳だ」と言
う。それを面白がって、日本か
ら旅行者を招いた席で彼に再度
たずねると今度は約三十五だ
と言う。

「その当時、僕は何と軽薄で

